

## 2020センターテスト（B・本試験）解説

△は特に易しい、▼はちょっと難しいと思う小問。あくまで個人的感想です。

### 第1問 テーマ史・会話は例年通り。会話のテーマは教育。講習で配ったオリジナル問題とビンゴだった！

実際、「坂東の大学」や金沢文庫・国民学校・懐徳堂など、かなりヒットした。

それにしても、「なんで勉強しなくちゃいけないの？」「なぜ歴史を学ぶ必要があるのかな？」…ねえ…。

△問1 ア：「文部省設置の翌年」なのだから学制。教育令は民権運動期。

イ：「イエズス会宣教師」とある。ヤン＝ヨーステンってオランダやん（笑）。

問2 図版問題だが見れば分かるタイプ。Xは：学院。Y：北条実時は金沢実時ともいう。

問3 ①空也→空海 ②『読史余論』は新井白石だから江戸時代。時代による正誤判断キタ！

③懐徳堂は大坂。場所による正誤判断キタ！ ※私塾は特に場所要注意と言ったはず

問4 Iは鉄砲伝来、IIは豊臣秀吉、III（東大寺再建）は鎌倉初期。III→I→II。

陳和卿を知らなくても、「宋人」「大陸伝来の建築様式」で解答には十分。

問5 Xは名前そのまま（笑）。Yは「日本古来」とあるので、古学（儒学）ではなく国学。

問6 a・b：初見史料だがほぼ現代文なので落ち着いて読めば分かる。

c・d：津田左右吉だし、出典に「1919年」とある。三宅雪嶺は明治です。

### 第2問 古代国家の辺境支配がテーマの問題。考古は小問1つだけだった。今回、全体として地図は出なかったが、位置情報が必要な問題（問1、2、4）が多かった。

△問1 ア：薩摩→大隅という自然な流れでOK。 イ：東北なので鎮守府でOK。大宰府は九州。

▼問2 a：三内丸山は青森。 b：寒冷な北海道では水稲耕作は当時の農業では無理。

d：これは難しい。8世紀に支配に組み込んでいる。律令制が変容する10世紀では遅すぎる。

△問3 X・Y：図と注を読めば平易。絶対に注を見落としてはいけない。

問4 ウ：阿弭流為は次の桓武朝。 エ：秋田は日本海側。配った地図問題をやっていれればすぐ分かった。

問5 X：緒嗣はやや細かいが、仲成は次の世代（薬子の変）なので消去法でも可。

問6 読めば分かる史料読解問題2つめ。

a：「道の奥の蝦夷男女二人をもちて唐天子に示せたてまつる」とある。

b：「天子問いて曰く」とあり、逆。

c・d：「肉を食い」「深山の中にして樹本に止住う」とある。

### 第3問 中世史で、お風呂のテーマ問題。ただし例によってテーマは設問とは関係ない。1つの大問、しかも中世にXY正誤が2問あるのは珍しい。

△問1 X：普通に正文。Y：逆に武家の棟梁の地位は高まった。

問2 今年の有名史料は紀伊国阿氏河荘荘民訴状。漢字ひらがな表記に直されていて、注も充実しすぎ（笑）

a・b：「逃亡の跡の麦蒔け」とある。c・d：「地頭の方へ責め使われ」とある。

問3 ①天龍寺も建仁寺も京都、というか京都五山。 ③大原も桂も京都の地名。

④一向宗なら一向一揆。法華一揆は法華（日蓮）宗。おっ、センター直前授業が直接役に立ったね。

△問4 ②悪党は幕府の指示に従わないから悪党なのだ。

問5 X：普通に正文。例えば信玄堤。 Y：現地に役人を派遣したら「指出」にならない。

問6 I（問丸）は鎌倉期、II（永楽通宝）は室町期、III（関所の廃止）は戦国大名。I→II→III。

**第4問** 近世史問題。テーマは鉱業と流通。去年も産業中心だった。

△問1 ア：「中国地方」だから石見銀山。実は石見＝島根というイージー問題。生野銀山は但馬国（兵庫県）。  
イ：長崎貿易の制限だから当然海舶互市新例。

▼問2 III（大友義鎮）が戦国で平易。I（糸割符制度開始：家康期）→II（スペイン来航禁止：秀忠期）がちょっと厳しい。III→I→II。家康は貿易縮小する気ゼロだよね～という私の説明を覚えていれば、導ける。

※ちなみに、去年も江戸初期～鎖国の時代順が問われた。過去問演習大事！

△問3 ①銀は西日本。②小判は計数貨幣。④南鐐二朱銀は田沼の政策で、松平定信は即廃止。

問4 ①高機の伝播は西陣から桐生へ。②入浜と揚浜が逆。④シドッチ→ヴァリニャーニ。

▼問5 これは難問だが、①木綿・菜種は西国の産物であると気づけば、「関東の村々」で誤文と判断できる。

問6 読めば分かる史料読解問題3つめ。初見史料で、やや読み取りにくい。X：「その甲斐これなき」で誤。

Y：「近来莫大の員数」「遠からざる内、小銭も払底」「山林も伐り尽し」で正文。

**第5問** 幕末から明治の民衆運動がテーマ。

△問1 ア：自由「貿易」なんだから和親条約ではない。イ：土佐で立志社。交詢社は福沢諭吉。

問2 ①貨幣改鑄（万延小判）で物価は高騰。②文は正しいが天保改革なので時期が合わない。

③薪水給与令は外国船への給与。

問3 I（困民党）は民権期で1880年代、II（ええじゃないか）は幕末で60年代、III（血税騒動）は明治初期で70年代。II→III→I。

▼問4 今年最難問の予感。激化事件の時期を1880年代とすれば、①内閣制度、④甲申事変はほぼ同時期となる、残った②二科会と③日本郵船会社の時期（1885年）判断は厳しいが、二科会が大正・昭和文化であることから、誤文として②を選ぶことはできる。

講習で述べたよう、近代美術の流れは、文明開化期（工部美術学校など洋画興隆／日本画の没落）→ナショナリズム期（東京美術学校など日本画の復権）→共存繁栄の場としての文展（明治後期）→そこからの二科会の離脱（大正）。

**第6問** 近現代史。テーマは風刺漫画。まさかの戦後1問（しかも占領下）。去年が4問だったから極端すぎる出題。なお、今回も人物シリーズはなかった。つままないなあ。

問1 ア：1875年、イ：1910年という時期から、新聞紙条例と大逆事件を選べる。

▼問2 I（台湾出兵）、II（日露戦争）、III（西南戦争）の順序である。台湾出兵が征韓論争の直後（内治派が勝ったくせに）なので西南戦争前であり、I→III→II。ちなみに、木戸孝允は台湾出兵に抗議して下野。その後の大阪会議で大久保に説得されて復帰するが、西南戦争の前に病没する。

問3 ②・③・④いずれも「文は正しいが時期が日露戦争より前」である。

問4 ③重化学工業が発達しても、製糸業などの繊維工業が衰退するわけではない。

問5 X：北一輝は右翼思想家。Y：吉野作造は『中央公論』でも民本主義を主張した。

問6 ①は戦後、③は戦時下。②は若槻礼次郎ではなく山本権兵衛内閣。

問7 X：「未婚」に悩んだかも。子連れで重労働はできません。Y：普通に正文。

△問8 図は初見だが明らかに農地改革で小作→自作。「あぐらをかいている」という慣用句が分かれば…。

※ 正解番号は①が多く、また連番が多かった。冒頭から①①は心臓に悪いが、あと3回①①があった。

XY正誤も去年と大きく変わり、①3、②2、③1。①率が50%、正文率が66.7%と2017年水準に戻った。

※ 今年も地図なし、統計グラフなし、有名写真なし、でした。

※ 全国平均ですが、去年が△9▼7で64点でした。去年が△9▼5で、66点と予想します。